

水辺のごみ見つけ！2017（全国水辺のごみ調査）の結果

全国川ごみネットワーク

水辺に散乱するごみの状況を全国規模で把握し、ごみの散乱防止対策、水辺の環境保全活動へ役立てることを目的に、2016年より全国水辺のごみ調査を実施しています。

ごみを調査することにより、水辺のごみへ目を向け、何でごみがあるのかを考え、周囲の環境への関心を高めました。

（調査期間：2017年4～11月）



◆調査結果

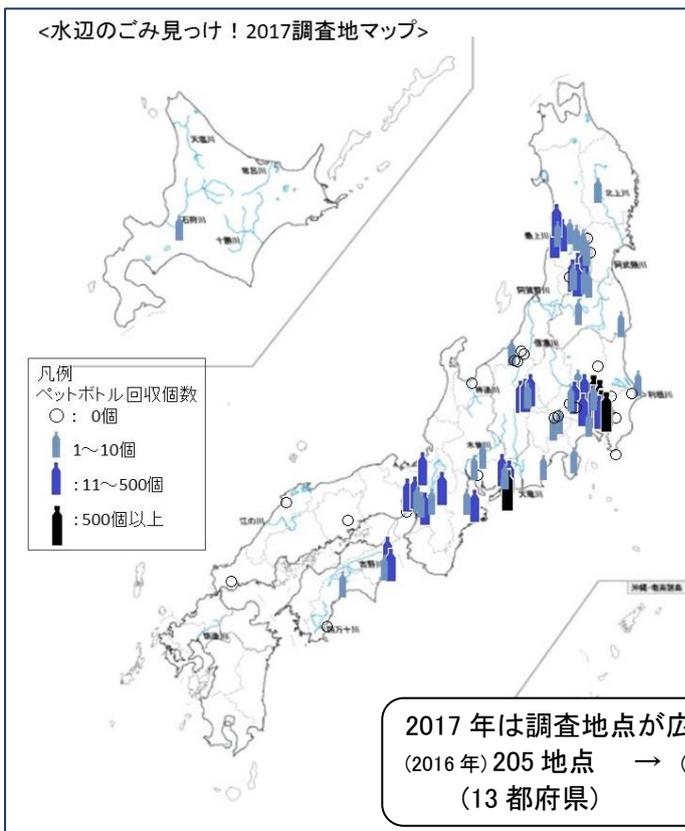


- 飲料ペットボトル：**40,802** 個 (50,347 個)※注1
- レジ袋：**13,352** 個 (11,343 個)
- カップ型飲料容器：**1,712** 個 (1,049 個)

◆調査人数・地点数など

- 参加人数 のべ **10,032** 人
- 調査地点 **264** 地点
- 調査範囲計(水辺の長さ) 186.48km

◆調査実施場所



※注1)2017年は、ペットボトルの回収数が減少していますが、2016年に大量に回収した調査地点(1地点で約2万個)での実施が無かったことに因ります。水辺のペットボトル散乱数が減ったのではないかと考えます。

◆参加者のコメント(一部抜粋)

- 多かったごみ、気になったごみ
 - ・たばこ、ビニール片、お菓子の袋やお弁当などの容器
 - ・自動車用タイヤ、バイクの排気筒
 - ・ハウス用のナイロンだと思われる大きなビニールを多く回収
- 感想など
 - ・おたまじゃくしやザリガニ等生き物も多かったです。
 - ・調査時には植生の中にカルガモの営巣が確認され、ゴミの漂着、堆積による鳥類など生きものへの影響が懸念される。
 - ・増水した時に、川の木の高いところにビニールがひっかかっていた。
 - ・駅前周辺であり、コンビニもあるため、関連するごみが多く見つかった。また、3日前の降雨によって流されていることも想定される。

…このように、調査をすることで、ごみばかりでなく周囲の環境にも目がいき、何でごみがあるのか？を考えられました



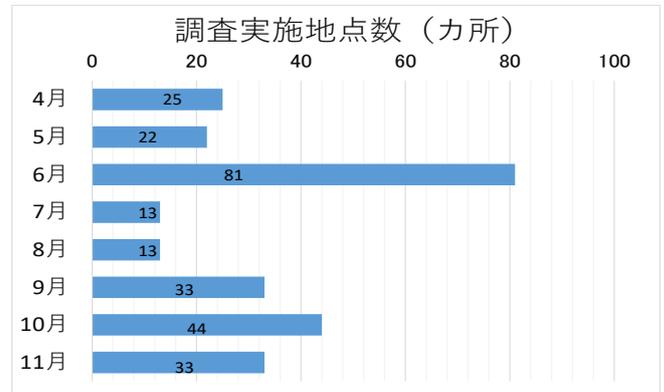
5/28 瀬田川（滋賀県大津市） 6/17 隅田川（東京都台東区） 8/11 諏訪湖（長野県下諏訪町） 10/4 馬見ヶ崎川（山形県山形市）

調査実施団体(一部抜粋):三笠イオンチアーズクラブ、雫石町児童館わーくてんばー、NPO 法人パートナーシップオフィス、美しい山形・最上川フォーラム、阿賀野川川の達人の会、とちぎイオンチアーズクラブ、イオン入間店チアーズクラブ、(一社)全国上下水道コンサルタント協会、イオンチアーズ市川妙典店、全国上下水道コンサルタント協会、イオン鴨川チアーズクラブ、イオン成田チアーズクラブ、日本山岳会東京多摩支部施自然保護委員会、隅田川流域クリーンキャンペーン実行委員会、イオン日の出店 チアーズクラブ、NPO 法人多摩川センター、(株)エイト日本技術開発、川づくり・清瀬の会、自由学園、世田谷環境学習会、荒川クリーンエイド・フォーラム、パナソニックグループ労働組合連合会神奈川地区懇談会、NPO 法人多摩川エコミュージアム、自然環境見守り隊、イオン新発田チアーズクラブ、越後新川まちおこしの会、みずとみどり研究会、みずねっと☆おもがわ、富士川ファンクラブ・三珠地区、下諏訪町諏訪湖浄化推進連絡協議会、下諏訪南小学校、相賀の里を良くする会と島田市相賀小学校4年生、南陽イオンチアーズクラブ、庄内川に中川区の木黒松並木づくり隊、(社)Clear Water Project、虹のとびら表浜 BLUE WALK グループ、板東自治会、釣り人による清掃活動(淡海を守る釣り人の会)、こども海ごみ探偵団、大東フレンドフォーラム&大阪産業大学エコ推進プロジェクト&寝屋川・恩智川流域環境フォーラム&だいたう森づくりクラブ&大阪産業大学エコ推進プロジェクト、ガールスカウト大阪第 21 団、たかつき環境市民会議 水環境保全グループ および 有志市民、イオン出雲チアーズクラブ、倉敷イオンチアーズクラブ マスカット隊、下関市立殿居公民館ちびっこ教室、NPO 法人新町川を守る会、四万十町立北川小学校 5,6 年、イオンチアーズクラブ(高知)、その他個人多数

ありがとうございました

◆調査時期

月別の調査実施地点数は右グラフの通り。
 6月に最も多く調査が実施されました。なかでも、
 6月4日の身近な水環境の全国一斉調査に合わせて
 ごみ調査も実施された団体・個人が多いようです。
 6/3・4日(土・日)だけで、45カ所で調査が実施されました。



◆調査地別の集計

本調査実施場所を、川/海/湖沼でそれぞれ集計した結果は以下となります。

	調査地点数	参加人数 (人)	調査範囲計 (km)	ペットボトル 数(個)	レジ袋数 (個)	カップ型飲料 容器数(個)
川	244	8,962	134.58	34,172	10,183	1,097
海	13	661	41.76	6,454	3,029	507
湖沼	7	409	10.15	176	140	108
合計	264	10,032	186.49	40,802	13,352	1,712

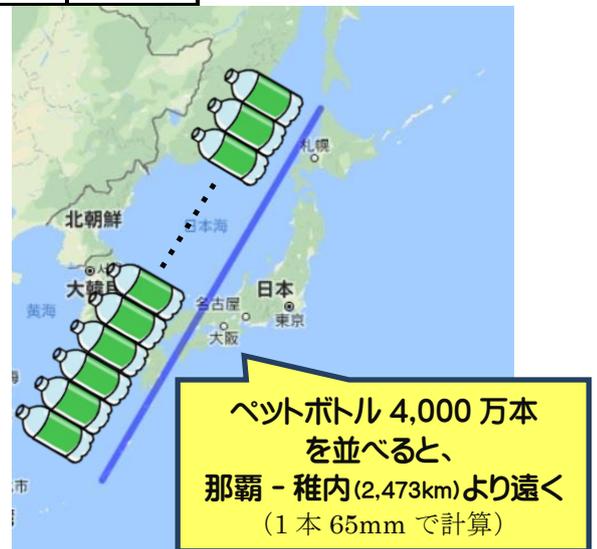
全国の川沿いの 244 地点(のべ 134.58km)で

34,172 個のペットボトルを数えた。

◆調査結果からの推測

調査距離は、日本の河川(一級、二級、準用河川の
 総延長 144,046km)の 0.093%
 これより推測すると、

**国内河川に
 約 4,000 万本の
 ペットボトルがあることになる。**



※本結果を、PET ボトルリサイクル推進協議会(専務理事)にお伝えしました
 相当量のペットボトルが川や海に散乱している状況をご理解いただきました。
 きちんと回収されないと、川や海などに流出することになります。
 『決められた回収場所にきちんと出すことが大切です!』と、お話いただきました。
 市民、業界団体等が共に、自然界に散乱するペットボトルを減らさなくてはなりません!

◎日本の清涼飲料用PETボトルの出荷本数は、227 億本(※)

◎PET ボトルのリサイクル率は、83.9%(※)

※:PETボトルリサイクル推進協会 2016 年度データより